



ステージで秋田の地場産品などを大いにPRしました
(9月21日、上野恩賜公園で)

市長コラム

日々ネカ心

秋田市長 ● 穂積 志(もとむ)

秋田の豊かな実りを全国へ

ラグビーのワールドカップ日本大会が始まり、盛り上がりを見せています。開催地、開幕戦の重圧の中、日本代表は勝利を飾りましたし、秋田市で事前合宿を行ったファイジー代表の初戦は、後半逆転されたものの、その後の試合が楽しみになる戦いぶりでした。両チームには引き続き勝利を願い、声援を送りたいと思います。

さて、炎暑(えんじゆ)とまで呼ばれたのがうそのように、朝夕などはめつきり冷え込み秋の到来を実感しています。そして季節が移ろうほどに、食卓や店先にも秋の恵みが並びようになりました。

こうした豊かに実った秋田の食材や花き(か)のトップセールスとして、東京上野恩賜公園で開催された「Tokyo江戸ウィーク2019秋祭り」に参加してきました。昨年、JA秋田なまはげが発足したことを機に、管内である秋田・男鹿・潟上の3市とJAが連携し、今

年5月秋田中央地域地場産品活用促進協議会(通称「農家のパートナーネットワーク」)を設立しましたが、これはその活動の一環です。

今回は、男鹿の菅原市長、潟上の藤原市長、JA秋田なまはげの京極代表理事組合長等とともに、会場で存分にそれぞれの市のお国自慢をさせていただきました。男鹿市は旬を迎えた梨・幸水やハタハタのしよつるなど、潟上市は幸水に加え、伝統(でんとう)の佃煮(つくね)などを売り込み、来場者の関心を引いていました。

私からは、甘みが強く香りがよい秋田オリジナル品種の枝豆「あきたほのか」や、秋田を代表する花の一つと言えるダリアをPR。特にダリアは、大ぶりで鮮やかな花を数本手にしてブース前に立つただけで、周囲の注目を集めることができました。梨や枝豆のプレゼントもあつたのですが、どちらもあるという間になくなりまして。この3市だけでもいかに秋田



ブース前でダリアをPR!

県が食や美の宝庫であるかがわかります。男鹿・潟上両市長とは、この後もお互いの強みを活かしながら地場産品の販売促進を図っていくことを確認しました。

さらに、こうした特産品や豊かな自然に加えて、しっかりと保育・学習環境のよさなどもPRし、移住定住の窓口となる東京駅近くの「秋田市移住相談八重洲センター」も紹介しました。イベント後、わざわざ私を訪ね、あいさつしてくれた子育て世代の若者もいました。

先日ふと市内を移動中、東の方角を見上げたら、太平山のなだらかな稜線(りやうせん)が澄み切った青空と緑の山並みをくつきりと分けていました。やがてこの山並みが赤や茶に色づき始めると、いよいよ豊穡(ほうじやく)に彩られた秋田の秋もさらに深まっています。

◆市長の動向などは、市ホームページでお伝えしています。 <https://www.city.akita.lg.jp>



式典でお言葉を述べられる天皇陛下。右は皇后さま



式典の様子



最優秀賞を受賞した、大山凜さん(左)と戸嶋心和さん(右)。2人には、8月29日の「秋田市戦没者追悼式・平和祈念式典」で受賞作品を朗読してもらいました

心ひとつに 平和への願い

平和の尊さ、大切さについて理解を深めるため、小学生から「平和へのメッセージ」を募集したところ、22作品の応募がありました。

選考委員会による審査の結果、入賞したのは下記のみなさんです。最優秀作品は、市ホームページからご覧になれます。

■広報ID番号 1004691
福祉総務課地域福祉推進室
☎(888)5661

豊かな海を 未来へつなぐ

9月7日・8日、秋田市を主会場に「天皇陛下御即位記念 第39回全国豊かな海づくり大会」が開催されました。

この大会は、水産資源の保護・管理や漁業の振興・発展をはかることなどを目的に毎年行われているもので、秋田県では初の開催となります。

小学生の部(学校名) 敬称略
最優秀賞 大山凜(四ツ小屋)
優秀賞 遠藤瑠衣・羽川明純(以上港北)

佳作 伊藤晃大・小松和・金龍之介・寺沢雨葵・二田悠・横山柚花(以上飯島)・京野千紗(港北)・三浦陽菜(広面)
中学生の部(学校名) 敬称略
最優秀賞 戸嶋心和(土崎)
優秀賞 船木美妃(山王)
佳作 三浦日向・横井尊(以上将軍野)・伊藤詩葉・藤井清音(以上外旭川)・笹刈心・相馬愛菜・竹内翠南・布施虹南・門間勇吹(以上土崎)

8日には県立武道館で、天皇・皇后両陛下ご臨席のもと式典が開かれ、漁業振興に功績のあった団体の表彰や、作文コンクールの最優秀作品の発表などを行ったほか、秋田県の若手漁業者らが未来の海づくりへの思いを込めたメッセージを披露。その頼もしい言葉に、式典へ参加した関係者のみなさんも、水産資源の保全と漁業の振興に一層取り組んでいくことを確認し合った様子でした。

包括外部監査への対応

包括外部監査は、市の財務事務が適正に行われているかを、独立した監査人がチェックする制度です。

今年2月に包括外部監査人である泉田雅俊さん(公認会計士)から報告があった、平成30年度の監査結果(テーマは「秋田市教育委員会の財務に関する事務の執行について」)に対して、市教育委員会では次のとおり対応しています。

問 総務部総務課 ☎(888)5423、教育委員会総務課 ☎(888)5803

【監査結果の要点と対応】

1 私費会計である校外学習のバス代収入と支出を決算報告書に反映させるとともに、私費会計事務点検結果報告書に記載し、点検結果を報告する必要がある。

対応 当該私費会計について、決算報告書を作成して私費会計事務点検結果報告書に記載するとともに、市教育委員会と会計ごとの予算書・決算書の作成と第三者監査の実施を各小・中学校に指導しました。

2 学校の備品と図書について棚卸しを実施し、管理する必要がある。

対応 台帳と物品を照らし合わせた備品の棚卸しと、段階的な蔵書の確認を行っていきます。

3 小・中学校におけるタブレット端末の利用実態を把握した上で、新学習指導要領の目標水準を実現するための配備計画を策定することが望まれる。

対応 毎年実施しているタブレット端末の利用実態調査の結果を踏まえながら、目標達成に向けて取り組んでいきます。

4 図書館を利用している市民からは一定の満足度評価を得ているが、利用していない市民も対象にした利用状況調査などを実施し、図書館サービスの方向性を検討することが望まれる。

対応 今後の図書館サービスを多角的に検討するため、利用していない市民も対象にしたアンケート調査を今年度中に実施します。